

震災復興ニーズ調査

東日本大震災から1年を経過し、当所では、会員事業所の現況や刻々と環境が変化する復興ニーズを把握し、今後の復興支援事業や各種要望活動等に活かすために「震災復興会員ニーズ調査」を実施しました。

また、県内各商工会議所においても同様の調査を実施しましたので、併せてその一部を紹介します。

▼期間 4月2日～4月27日

▼対象 全体14,701社

(仙台・塩釜・石巻・気仙沼・古川・白石の各商工会議所の会員事業所)

仙台7,065社

▼回答 全体5,071社

回収率34.5%

仙台1,521社

回収率21.5%

宮城県内の事業所の「売上状況」と今後の見通し(図1)

宮城県内の事業所の経営状況(売上額)について、震災前の1年間と比べて現在の状況をたずねたところ、仙台では42.9%が「増加」と回答した一方で、石巻(49.6%)、気仙沼(48.7%)、白石(48.1%)では半数近くが「減少」と回答する事業所が多くなっています。

今後の売上の見通しについても、

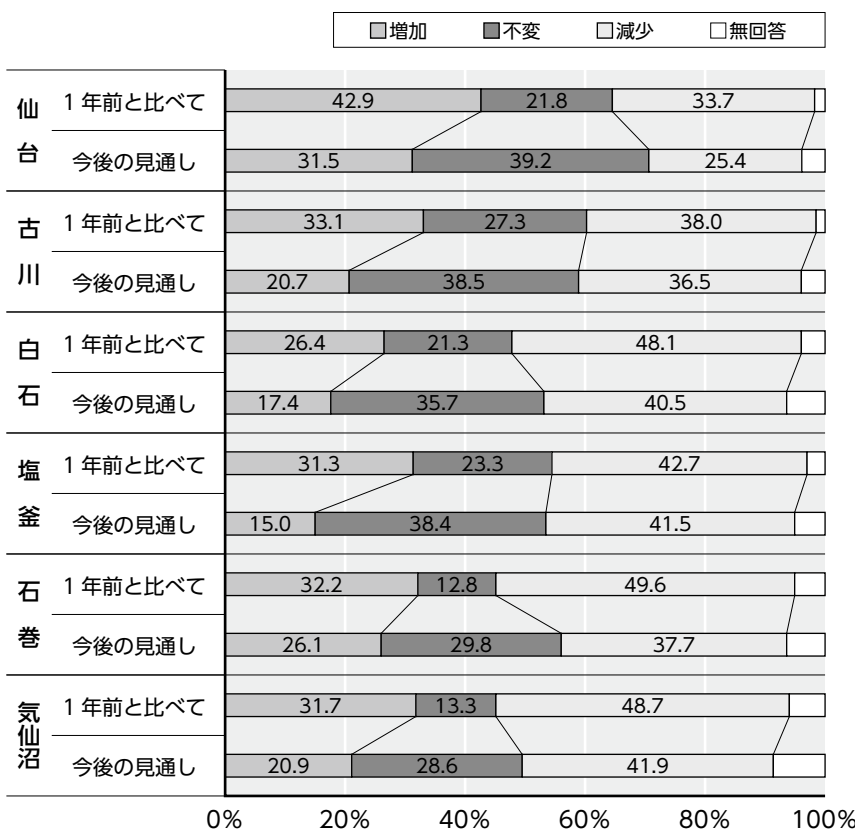
仙台では「増加」と答えた事業所が31.5%と、他地域に比べ多くなっており、塩釜、気仙沼、白石では「減少」という回答が40%超と多くなっています(図1)。

業種別で分析すると、震災前の1年

間と比べての現在の売上状況は、仙台では「増加」が、建設業で多く、一方、「減少」が、製造業、小売業、サービス業(飲食業除く)で多くなっています。

今後の売上の見通しについては、他の業種に比べ、建設業で「増加」という回答が若干多いものの、全体的に不変という回答が多くなっています。

図1:宮城県内の事業所の経営状況(売上額) (回答数 全体:5,071社/仙台:1,521社)



課題は、「売上減少」と「仕入価格

仙台的な事業所が、現在、直面している経営上の大きな課題は、第一位が「売上の減少」、第二位が、「仕入単価(価格)の上昇」となっています(図2)。この2つは、回答した3割を超える事業所が課題として挙げています。

業種別で見ると、「売上の減少」が、小売業、製造業で特に多く、「仕入単価(価格)の上昇」が、建設業、飲食業で多く見られました。

経営上の課題トップ3には挙げられませんでしたが、卸売業では「震災による取引先の減少」が3割を超え、「債権回収の悪化」「震災による風評被害」が多く、飲食業では「事業資金の借入難」「事業継承(後継者)難」と回答される事業所が2割を超え、他の業種に比べて多く見られました。

また、従業員の規模で分析してみると、従業員数が小さくなるにつれ、「売上の減少」が多くなる傾向が見られ、逆に、従業員数が大きくなるにつれ「従業員の確保難」が多くなる傾向が見られました。

地域別で見ると、「売上の減少」、「仕入単価(価格)の上昇」が、白石で多く、「設備(店舗等含む)の老朽化・損壊」が、気仙沼で、他の地域に比べて多くなっています。また、「震災による取引先の減少」が、石巻、気仙沼で多く、「従業員の確保難」、「震災による風評被害」が、石巻で、他の地域に比べて多い結果となりました。

図2:現在の経営上の課題トップ3「業種別」【仙台】

(複数選択可)

順位	全体	建設	製造	卸売	小売	飲食	不動産	サービス
第1位	売上の減少 (35.6%)	仕入単価の上昇 (51.9%)	売上の減少 (45.0%)	売上の減少 (40.0%)	売上の減少 (50.0%)	仕入単価の上昇 (56.3%)	設備の老朽・損壊 (48.5%)	売上の減少 (38.0%)
第2位	仕入単価の上昇 (33.9%)	従業員確保難 (37.0%)	仕入単価の上昇 (43.3%)	仕入単価の上昇 (38.4%)	販売単価低下 (36.0%)	設備の老朽・損壊 (54.9%)	売上の減少 (26.8%)	従業員確保難 (27.1%)
第3位	設備の老朽・損壊 (28.6%)	人件費の増加 (36.0%)	設備の老朽・損壊 (36.8%)	販売単価低下 (34.1%)	設備の老朽・損壊 (30.3%)	従業員確保難 (40.9%)	仕入単価の上昇 (24.7%)	販売単価低下 (25.4%)

今後の経営は「人」を重視(図3)

仙台の事業所において、今後、ここ数年の経営計画で重要視していく点について、たずねたところ、第1位が「人材育成・確保」で53・1%、第2位が「販路開拓」で48・6%、第3位が「経費節減」で43・1%となっており、これら上位3位までが4割以上の企業に挙げられています(図3)。

業種別で見ると、「人材育成・確保」が、建設業、飲食業、サービス業(飲食業除く)で多く、「販路開拓」が、製造業、卸売業で、他の業種に比べて多い結果となりました。

また、地域別では、白石では、「経費節減」が、石巻、気仙沼では、「設備投資」が他地域に比べて多くみられました。

望むことは「人に関連した支援」

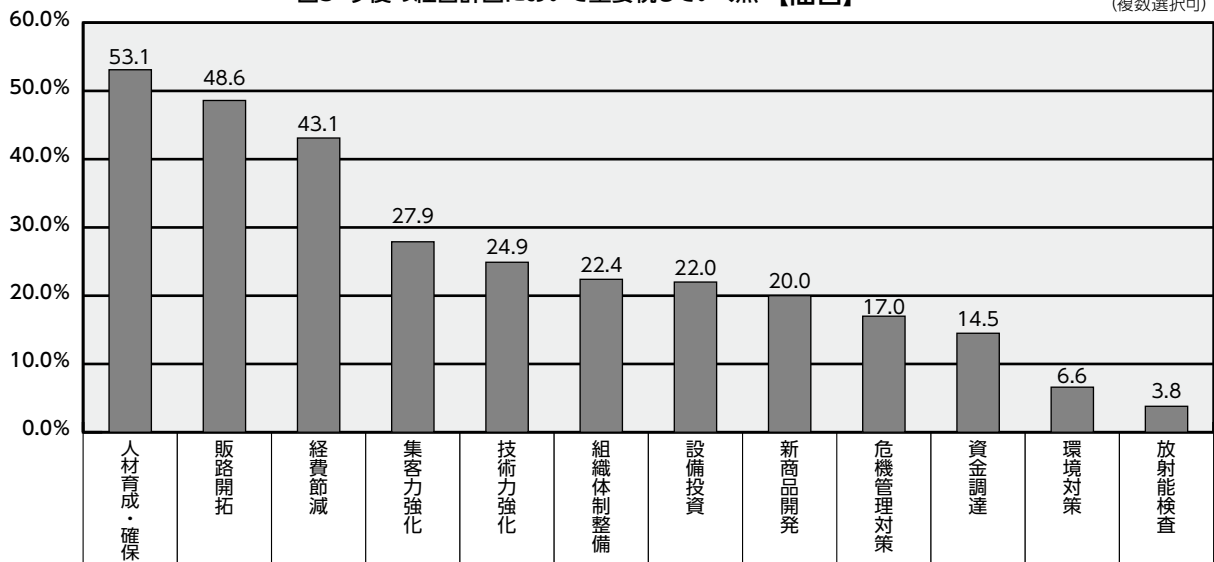
当所に望む支援事業等をお聞きしたところ、「人材育成・事業継承の支援」、「人脈づくり・異業種間交流の支援」、「地域活性化」、「宮城・東北との広域連携した復興支援」、「雇用支援」の順となっており、特に、人に関連した支援を望む回答を多くいただきました。

当所では、今年度、「交流会・商談会」(年間16回開催)ほか、幅広いテーマの講習会等を実施します。

今回のニーズ調査等を参考に、今後の復興支援事業や各種要望活動をはじめ、よりよい会員サービス事業や経営支援活動を行ってまいります。

図3:今後の経営計画において重要視していく点【仙台】

(複数選択可)



	人材育成・確保	販路開拓	経費節減	集客力強化	技術力強化	組織体制整備	設備投資	新商品開発	危機管理対策	資金調達	環境対策	放射能検査
全体	53.1%	48.6%	43.1%	27.9%	24.9%	22.4%	22.0%	20.0%	17.0%	14.5%	6.6%	3.8%
建設	69.9%	38.8%	46.0%	14.9%	47.4%	29.1%	19.7%	6.9%	18.7%	15.2%	8.0%	2.1%
製造	50.3%	63.2%	47.4%	13.5%	32.8%	18.1%	30.4%	42.1%	20.5%	13.5%	9.4%	5.3%
卸売	46.5%	77.3%	47.0%	16.2%	10.3%	21.1%	16.8%	33.0%	20.5%	18.4%	7.6%	7.6%
小売	38.2%	44.9%	37.6%	55.6%	10.7%	12.9%	19.1%	15.2%	11.8%	12.4%	3.9%	5.1%
飲食	59.2%	23.9%	39.4%	57.8%	11.3%	12.7%	35.2%	36.6%	7.0%	16.9%	4.2%	7.0%
不動産	36.1%	28.9%	35.1%	21.7%	6.2%	18.6%	38.1%	9.3%	14.4%	18.6%	9.3%	1.0%
サービス	52.2%	48.1%	38.5%	33.1%	27.3%	24.6%	19.1%	18.3%	14.2%	13.7%	5.2%	3.0%

※上位3つの回答に網かけ